

共催：第 18 回 日本臨床腫瘍学会学術集会 / イルミナ株式会社



イブニングセミナー 32 (ES32)

## がんゲノム医療における 包括的ゲノムプロファイリングの有効性

日時 : 2021 年 2 月 20 日 (土) 18:50 ~ 19:40 ライブ配信  
司会 : 国立がん研究センター先端医療開発センター  
トランスレーショナルインフォマティクス分野 土原 一哉 先生

演者 : 鳥取大学医学部附属病院 呼吸器内科・膠原病内科学  
阪本 智宏 先生

演題名: プレシジョン・オンコロジーの “True Sight”

近年、各種遺伝子異常をバイオマーカーとする標的治療薬の開発が目覚ましい。対象患者に薬剤を届けるためには、遺伝子異常を正しく診断する必要があるが、各種遺伝子を個別に診断することは現実的ではなく、NGS 法を中心とした multiplex 遺伝子検査の重要性が必然的に増してきている。ここでは、臨床医が NGS 検査とどう向き合えばいいのか、いつ遺伝子を調べるのか、検査をどう使い分けるのかなど解説したい。

演者 : イルミナ株式会社 技術営業部  
北野 敦史

演題名: 包括的ラージパネル TSO500 ファミリーについて

2019 年にがんゲノムプロファイリング検査が保険収載された。プロファイリング検査には幅広い癌種に対応する包括的パネルが望ましく、イルミナ社は包括的ラージパネルとして組織検体用の TruSight Oncology 500 (TSO500) を 2019 年に発売し、また Liquid Biopsy 用の TSO500 ctDNA も 2020 年に発売した。今回、この TSO500 ファミリーについて紹介する。

《ご注意》

セミナーのご視聴には参加登録が必要となります。詳細につきましては学会ホームページをご確認ください。

<https://www.congre.co.jp/jsmo2021/>

■ セミナーに関するお問合せ先 contactJPN@illumina.com